

名古屋共立病院でも既に 9 名の血液透析患者さんに治療を行い、全員で C 型肝炎ウイルスを消失させることができました。ウイルスの消失は肝硬変への進展を防ぎ、将来的な肝がん発生の危険性低下が期待できるなど、患者さんへのメリットは非常に大きいと言えます。

以上のように、C 型肝炎の治療は急速な進歩を続けており、今後も治療効果や安全性のさらなる向上を目指した新薬が登場してきます。同時にこれらを適切に使用して最大限の効果を引き出すためには、新薬を熟知した専門医の力が必要です。名古屋共立病院は、質の高い透析医療と肝臓専門医による診療の両方を提供できる数少ない病院の 1 つであり、これからも C 型肝炎をはじめとする肝臓疾患の診断から治療まで、幅広く対応していきます。



医師紹介

消化器内科、消化器化学療法科 部長

栗本 拓也(くりもと たくや)

日本内科学会 総合内科専門医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
日本肝臓学会 肝臓専門医
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医